

生態工学 2018 年度第 2 回理事会議事録

日 時：2018 年 10 月 19 日（金）13：30～15：20

場 所：東京文化会館

【総務委員会】

2018 年度総務委員会活動報告（10 月期）

- (1) 会員数・賛助会員数に関して報告があった。
- (2) 報告事項
 - ・協賛名義使用依頼に関して
「アグロ・イノベーション 2018」、「第 3 回農業電化シンポジウム」に対する協賛名義使用の承諾を行った。
- (3) 審議事項
 - ・推薦依頼について
「日本農業工学会賞 2019 候補者、正会員代議員及び国際会員代議員、フェロー」について、推薦者の議論を行い、日本農業工学会賞 2019 候補者を木部勢至朗会員、正会員代議員を齋藤高弘会員、国際会員代議員を遠藤良輔会員に推薦することとした。フェローについては北宅会長に検討し、推薦していただくこととなった。
「戦略的創造研究推進事業・総括実施型研究（ERATO）研究総括候補者」について、推薦者を募ることとなった。
 - ・サーバー移行と SLL 設定構築に関して
検討することとなった。

【編集委員会】

2018年度編集委員会活動報告（10月期）

生態工学会誌の発刊
下記報告がなされた。

生態工学会誌「生態工学」30巻2号～30巻3号(2018年4月、7月発刊)を発行した(内容:原著論文5、短報1、お知らせ2、投稿規程、総ページ62)。2018年10月16日時点での査読中および受理済みの論文は、原著論文なし、短報の査読中なし、受理済みが1報である。(30巻4号掲載。)

また、30巻3号までをJ-STAGE上の電子ジャーナルとして公開した。

種類	2018年度「生態工学」掲載論文一覧			
	第30巻		第31巻	
	2	3	4	1
特別寄稿				
特集論文				
原著論文	3	2		
短報		1		
総合論文				
解説・資料				
受賞記念寄稿				
ニュース・企画・報告				

【企画委員会】

2018年度企画委員会活動報告（10月期）

下記の報告がなされた。

(1) 日本地球惑星科学連合2018年大会（合同開催）

日 時：2018年5月20日（日）～5月24日（木）

会 場：幕張メッセ、東京ベイ幕張ホール（千葉市）

主 催：日本地球惑星科学連合

特記事項：20日（日）にセッション「圏外環境における閉鎖生態系と生物システム」において、6件の口頭発表と4件のポスター発表を実施。

(2) 2018年度生態工学会年次大会（主催）

日 時：2018年6月22日（金）、23日（土）[エクスカーション 6月21日（木）]

会 場：大阪府立大学中百舌鳥キャンパス学術交流会館（大阪府堺市）

参加数：118名

特記事項：○エクスカーション（ダイキン工業 TIC） 13名参加

○一般セッション口頭発表 11件、ポスターセッション19件

○オーガナイズドセッション（3企画）

「月面農場ワーキンググループ活動報告」 4件

「低炭素社会に向けた微細藻類の新たな技術革新」 3件

「次世代科学社会活性化委員会企画セッションとして
～アカデミアを活かして生きる」 3件

○ポスターオーガナイズドセッション

（大阪府立大学植物工場研究センターコンソーシアム共催）

「大阪府立大学植物工場研究センターコンソーシアム共同研究成果
報告会」 17件

○記念講演会「生態工学会の歩みと未来に向けて」

講演 1:CELSS 学会の活動について、および閉鎖型生態系実験施設
を用いた物質循環閉鎖居住実験 生態工学会理事 多胡靖宏

講演 2:CELSS 学会から生態工学会へ 第6代会長 大政謙次

講演 3:生態工学会の未来に向けて 第8代会長 木部勢至朗

総合討論 若手の会・若手研究者有志との意見交換

○大阪府立大学植物工場研究センター見学

(3) 平成30年度 科研費新領域「宇宙に生きる」若手夏合宿

日 時：2018年7月26日（木）～27日（金）

会 場：伊香保温泉 森秋旅館

参加数：70名

特記事項：科研費新領域「宇宙に生きる」は、無事に中間評価を終え第2段階に入った。今回の合宿は宇宙惑星居住科学連合若手の会との合同開催で「生態工学会の紹介」を行った。若手の方々とどのように宇宙実験を発展させていくべきかざっくばらんに話し議論した。

(4) 第62回宇宙科学技術連合講演会（共催）

日 時：2018年10月24日（水）～10月26日（金）

会 場：久留米シティプラザ（福岡県久留米市）

主 催：日本航空宇宙学会

特記事項：25日（木）にオーガナイズドセッション「宇宙で生きる!～地球軌道を超えてみよう～」を企画し、12件の講演を予定。

(5) 日本マイクロ重力応用学会第30回学術講演会（協賛）

日 時：2018年10月29日（月）～10月31日（水）

会 場：じゅうろくプラザ（岐阜県岐阜市橋本町1丁目10番地11）

主 催：日本マイクロ重力応用学会

特記事項：10月31日（水）にオーガナイズドセッション「宇宙惑星居住科学」において、題名「環境制御生命維持技術(ECLSS)と生態工学会の紹介」で講演予定

(6) 第11回 生態工学定例シンポジウム（主催）

日 時：未定

会 場：未定

(7) 定例研究会

第1回

テーマ：農業・食品産業で利用される膜分離技術

日 時：2018年5月21日（火）

会 場：東京文化会館

講 師：萩原 昌司 氏（農研機構食品研究部門）

第2回

テーマ：AIの基礎から第一次産業での活用まで

日 時：2018年10月19日（火）

会 場：東京文化会館

講 師：中村 俊輔 氏（エッジコンサルティング株式会社 AI事業開発部）

【表彰委員会】

2018年度表彰委員会活動報告（10月期）

下記の報告がなされた。

(1) 表彰式の実施

2018年6月22日、大阪府立大学中百舌鳥キャンパスにて開催された2018年度総会の後に表彰式を行ない、以下の通り表彰した。

【生態工学会賞学術賞】

木部 勢至朗 殿

生態工学の宇宙応用に関する研究

富田一横谷香織 殿

微生物および植物を研究材料とした圏外を含む多様な環境における生物機能に関する研究

【奨励賞】

大池 新二郎 殿

チンゲンサイ栽培による水熱分解液肥の作物生育に及ぼす効果と阻害の特性評価

下嶋 浩平 殿

イネの形質と UAV リモートセンシングデータから計算されたカラー指標との比較
潘 洋 殿

SLAM により取得された 3 次元点群画像からの樹幹直径及び樹高の推定に関する研究

森 直哉 殿

H₂O₂ 処理による酸化ストレスがリーフレタスの生育に与える影響

田之上 祐太 殿

水熱反応による TiO₂ コーティング液の簡単でかつ経済的な調製

日高 智美 殿

イチゴ栽培ハウスにおける冬季日照不足の改善策としての LED 補光の検討

下元 耕太 殿

個葉光合成特性評価のための標準的計測プロトコルにおける気孔コンダクタンスとリン酸律速の影響

板倉 健太 殿

手持ちおよび車載された LIDAR を用いた樹幹直径の推定に関する研究

Nhung Ngoc Hoang 殿

Growth Responses of Wasabi Planlets under Different Temperature Regimes During Photoautotrophic Micropropagation

【優秀講演賞】

板倉 健太 殿

画像解析を用いた葉の自動分離による葉面積、葉傾斜角の推定

田中 都 殿

異なる乾燥方法によるホップ香気成分の変化

武田 美恵 殿

都市近郊林を水源とする河川の温熱環境に関する研究－愛知県長久手市市街化調
区域を事例として－

小森 聡一郎 殿

大規模代謝反応ネットワークモデル解法としての Taylor 級数法の有用性

オン 碧 殿

陸棲藍藻 *Nostoc* sp. HK-01 の細胞密度と乾燥重量

(2) 2019 年度学会賞候補者の募集

2019 年度学会賞候補者の推薦を募集しています。

締め切りは 11 月 30 日。

(3) 賞状および記念品の送付

2018 年次大会において優秀講演賞を受賞された方々に賞状と記念品の準備を行い、
送付した。

【広報委員会】

2018 年度広報委員会活動報告（10 月期）

下記の報告がなされた。

(1) SEE Quick（メール配信）の運営

SEE Quick 配信依頼に対する取り扱い方法の運用を通して、会員および関連学会か
らの情報の速やかな配信業務が成し遂げられ、2018 年 4 月 1 日から 2018 年 10 月 9
日までに 76 回（通算 1461 回）情報提供を行った。

（注：通算番号は 400 番の番号飛びがある）

(2) HP の内容の更新

HP 内の各コンテンツの確認・更新作業を行なった。

【次世代科学社会活性化委員会】

2018 年度次世代科学社会活性化委員会活動報告（10 月期）

下記の報告がなされた。

(1) 男女共同参画学協会連絡会の年会費

5,000 円から 10,000 円に変更になった。

(2) 第 16 回男女共同参画学協会連絡会への参加

2018 年 10 月 13 日（土）に建築会館ホールにて開催された第 16 回男女共同参画学協会連絡会への参加し、生態工学会としてポスター発表を行った。学生のオン碧氏と千葉沙登子氏がボランティアとして当会の発表説明を行った。

(3) 第 11 回生態工学定例シンポジウム（次世代科学社会応援公開シンポジウム 2019）

2018 年 3 月につくば市で開催した次世代科学社会応援公開シンポジウム 2018 に続く会の開催予定をしている（木村靖子氏主催を予定）。場合により、冊子作成に変更も検討している。

【各支部活動】

2018 年度各支部活動報告（10 月期）

【関東支部】

・今期の活動

関東支部活性化に向け、関東支部メンバーのリストを寺添副会長より入手した。

しかし、現段階で、支部メンバーへのメール案内まで至っていない。

支部活性化の意見をお聞きするメール配信を行うよう検討中である。

・今後の活動

支部活性化の意見をお聞きするメールを配信し、まとめることを目標とする。

【関西支部】

12月6日に、四国大学交流プラザにおいて日本農業気象学会中国・四国支部および近畿中国四国農業試験研究推進会議農業環境工学推進部会とも共催で、以下の要領で開催予定である。

「平成30年度の生態工学会関西支部と日本農業気象学会近畿支部の
合同シンポジウム」(予定)

- (1) テーマ：地域資源を活用した持続的農業に向けて
- (2) 日時：平成30年12月6日(木) 15:00～17:00
- (3) 場所：四国大学交流プラザ(4階・第2セミナー室)
〒770-0831 徳島市寺島本町西2丁目35-8
<https://www.shikoku-u.ac.jp/institution/attached-plaza/>
- (4) 内容：
 1. 「仮題：世界農業遺産・にし阿波の傾斜地農耕システムと地域の活性化」
徳島県立農林水産総合技術支援センター 高木一文氏
 2. 「生物多様性を活用した持続的農業の可能性」
農研機構西日本農業研究センター 楠本良延氏
 3. 「環境との調和を目指した生態工学的農業－微生物機能を活用した資源循環技術による植物生産システム－」
大阪府立大学大学院生命環境科学研究科 遠藤良輔氏総合討論

なお本シンポジウムは、日本農業気象学会近畿支部と中国・四国支部の合同支部大会(平成30年12月6日(木)13:00～7日(金)15:00)の一環として開催する。

- (5) 情報交換会：12月6日(木)18:00～20:00 個室居酒屋日本一本店(徳島市南新町2-10)、参加費5,000円
- (6) 参加申込
11月22日(木)までにE-mailまたはFAXにて、以下の事務局へ申し込む。
事務局：〒765-8508 香川県善通寺市仙遊町1-3-1
農研機構西日本農業研究センター、傾斜地園芸研究領域、吉越 恆
TEL 0877-63-8133(直通) FAX 0877-63-1683 E-mail:yoshikoshi@affrc.go.jp

【その他】

2018 生態工学会年次大会報告

2018 年度年次大会は学会設立 30 周年記念大会と位置付け、『語り合おう今、未来を！私たちの地球、そして宇宙、熱く。』をテーマに開催した。



大阪府立大学学術交流会館

- (1) 日時：平成 30 年 6 月 22 日(金)～6 月 23 日(土)
- (2) 会場：大阪府立大学中百舌鳥キャンパス学術交流会館
- (3) 大会プログラム

6月21日(木)		6月22日(金)		6月23日(土)	
		08:30-	受付	08:45-	受付
		09:00-	口頭発表(Session1)	09:00-10:15	口頭発表
		10:40-	OS1	10:20-12:30	OS2,3
		12:00-	昼食/委員会	12:30-13:15	昼食
		13:00-	総会	13:15-14:30	ポスターセッション
		13:30-	学会賞表彰式・受賞者講演	14:45-16:00	講演論文賞表彰式・閉会式
14:00-	エクスカーション (ダイキン工業テクノロジーイノベーションセンター見学)	14:15-	休憩	15:00-16:00	大阪府立大学植物工場研究センター見学
		14:30-	記念講演会		
		16:30-	ポスターOS:大阪府立大学植物工場研究センター		
		18:00-	懇親会		
		19:30-			

(4) 大会参加者数

参加者総数 118 名 (内訳) 生態工学会 88 名
大阪府大植物工場研究センターコンソ関係 30 名

(5) 会計報告

収入 817,000 円 支出 817,000 円 (内 支部協力費 49,000 円)
コンソ収入 51,000 円 (関西支部扱い)

(6) 行事内容結果報告

- (1) 6月21日(木) エクスカーション
ダイキン工業テクノロジー・イノベーション
センターを見学(13名の参加)



エクスカーションの様子
(ダイキン工業テクノロジー・イノベーションセンターにて、
上段右端はご案内いただいたダイキン工業の笠井課長)

- (2) 6月22日(金)
- ①口頭発表
・発表件数：6件
- ②オーガナイズドセッション1
「月面農場ワーキンググループ活動報告」
オーガナイザー：川崎一義、布施哲人（JAXA）
・発表件数：4件

- ③記念講演会
「生態工学会の歩みと未来に向けて」をテーマに歴代会長を中心に語っていただいた。

(講演1) CELSS 学会の活動について、および閉鎖型生態系実験施設を用いた物質循環閉鎖居住実験：生態工学会理事 環境科学技術研究所 多胡靖宏

(講演2) CELSS 学会から生態工学会へ：生態工学会第6代会長 東京大学名誉教授 大政謙次

(講演3) 生態工学会の未来に向けて：生態工学会第8代会長 JAXA 招聘参与 木部勢至朗

(総合討論) 若手の会・若手研究者有志との意見交換

- ④ポスターオーガナイズドセッション
(生態工学会、大阪府立大学植物工場研究センターコンソーシアム共催)
「大阪府立大学植物工場研究センターコンソーシアム共同研究成果報告会」
オーガナイザー：伊能利郎（ダイキン工業）

- ・発表件数：17件
- ⑤懇親会 参加者数：62名



懇親会で挨拶される北宅会長(右端)
(左端は大阪府大の増田センター長)

(3) 6月23日(土)

①口頭発表

- ・発表件数：5件

②オーガナイズドセッション2

「低炭素社会に向けた微細藻類の新たな技術 革新」

オーガナイザー：増田篤稔（玉川大学）

- ・発表件数：3件

③オーガナイズドセッション3

「次世代科学社会活性化委員会企画セッションとして～アカデミアを活かして生きる」

オーガナイザー：富田一横谷香織（筑波大学）

- ・発表件数：3件

④ポスターセッション

- ・発表件数：19件

⑤表彰式、閉会式

- ・表彰件数：7件（内訳 優秀講演賞 5件、未来科学者奨励賞 2件）

⑥大阪府立大学植物工場研究センター見学

(7) 総括

- ・学会設立30周年記念大会ということで100名を超える参加をいただき、盛会となった。
- ・特に地元の大阪府立大学植物工場研究センターから17件のポスター発表の参加があり、十分な交流がはかれた。
- ・小学生をはじめとする若い世代からベテランの方々まで、世代を超えた議論が出来たことは非常に有意義であった。

2019 生態工学会年次大会について

- (1) 日時：2019年6月28日(金)～29日(土)
- (2) 大会組織（敬称略）
大会委員長 齋藤高弘 実行委員長 田村匡嗣
- (3) 会場：宇都宮大学峰キャンパス大学会館 ※懇親会会場 峰が丘講堂
〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町 350



宇都宮大学大学会館



峰が丘講堂

アクセス情報：

【市内から会場まで】

JR 宇都宮駅東口より 2.0 km、徒歩 26 分

- JR バス（乗車時間：約 15 分）
バス停：JR 宇都宮駅西口 バス乗り場 3 番
- 東野（とうや）バス
（乗車時間：約 15 分、東武宇都宮駅バスの場合 約 25 分）
バス停：JR 宇都宮駅西口バス乗り場 14 番、東武宇都宮駅バス乗り場
- 関東バス（乗車時間：約 15 分）
バス停：JR 宇都宮駅東口バス乗り場
- タクシー
JR 宇都宮駅東口乗り場（乗車時間：約 5 分）
東武宇都宮駅乗り場（乗車時間：約 15 分）



(4) 行事予定

一般研究発表セッション(口頭発表、ポスター発表)、オーガナイズドセッション、特別講演会、総会、表彰式、懇親会、役員会、その他委員会

(5) 次回理事会開催

次回の理事会の開催は来年2月22日(金)13:30の予定